

# 倫理 第22回「近現代日本思想史①：幕末～明治初期」

○今回のポイント

日本は急速な近代国家の整備のために、西洋の近代思想を取り入れた！！

## I. 西洋文明との接触

### 1. 西洋文明との接触

- ・16世紀～：日本における西洋文明との接触 →鉄砲伝来&キリスト教
- ・19世紀～：西洋との本格的な交流の開始 →明治以降

### 2. 蘭学の摂取とその影響

幕府の対外政策→西洋との接触の制限→オランダ商館の影響

- ・【① 蘭学】…江戸時代、長崎のオランダ商館を窓口として伝えられる西洋の学問  
→ex.蘭学医の活躍…前野良沢&杉田玄白『ターヘル=アナトミア』→『解体新書』
- ・【② 高野長英】…封建体制の矛盾と腐敗を批判。シーボルトに学び、蛮社(尚齒会)を設立。『戊戌夢物語』で鎖国政策を非難したため、蛮社の獄で弾圧された。
- ・【③ 渡辺崋山】…田原藩(愛知)の家老で産業教育を育成。人々の困窮を救おうと努力し、高野長英と尚齒会を結成。外国船打ち払いの無謀さを説く『慎機論』を著したため、蛮社の獄で弾圧され自殺。

### 3. 洋学者の思想

【④ 洋学】…蘭学をふくめた西洋の文化・科学技術全般にかんする知識

↓

日本の近代化の原動力

- ・【⑤ 横井小楠】…ペリー来航(1853)頃、攘夷論から開国論へ転向。西洋文明の明暗両面を洞察し、新しい日本を模索した。

- ・【⑥ 佐久間象山】…東洋の道徳(和魂)+西洋の科学技術(洋才)

「東洋の道徳・西洋の芸術、精粗もらさず、表裏兼該し」

アヘン戦争による中国敗北の衝撃→西洋の科学技術の積極的な取り入れ。

- ・【⑦ 吉田松陰】…松下村塾。

→【⑧ 一君万民論】…藩ごとに分裂した幕藩体制の枠をこえて、天下万民の君主である天皇にすべての民衆が結集し、「誠」をもって「忠」を尽くすという主張

## II. 啓蒙思想と民権論

### 1. 西洋文明の衝撃と日本

明治維新→近代国家体制整備による日本の独立→富国強兵・文明開化

【⑨ 明六社】…1873(明治6年)に森有礼の発議により結成された啓蒙思想団体。西洋近代の思想・文化を紹介し、国民の啓蒙に努めた。

【⑩ 森有礼】	文部大臣。ピラミッド型国家主義的教育体制を確立。一夫一婦制を主張。
福沢諭吉	天賦人權論・独立自尊・実学を説く。後、官民調和・富国強兵・アジア蔑視。
中村正直	翻訳書で啓蒙を図る。J.S.ミル『自由之理』、スマイルズ『西国立志篇』など。
【⑪ 西周】	哲学用語を考案。哲学・主観・客観・理性・悟性・現象・意識など。
津田真道	刑法をはじめ各種立法に貢献。コントの実証主義、唯物論的。
加藤弘之	当初は人權論を唱えたが転向。国家の利益を優先する国権論を展開する。

## 2. 学問のすゝめ [12] 福沢諭吉

- (1) 封建的身分秩序に対する批判…下級武士のみじめさ 封建的特権に対する怨恨  
↓  
→「門閥制度は親の敵でござる」
- (2) [13] 天賦人權論 …人間は生まれながらに平等の権利を持つという思想。  
↓  
→「天は人の上に人を造らず 人の下に人を造らず」  
↓  
→では何故身分差が生じるの? →学問! しなければ低賃金肉体労働者
- (3) [14] 独立自尊 の精神…人間の尊厳の自覚。他人や政府に依存せず、みずから判断し行動する、  
↓  
自主独立の生活を営もうとすること。実学の学問に励むと身につく。  
→・西洋から学ぶのは「有形において数理学、無形において独立心」  
→・「一身独立して一国独立す」
- (4) 晩年の思想
- a. [15] 官民調和・富国強兵論 …国家・政府の権力と民衆の権利の調和を図ろうとする考え。  
日本の独立を第一とした福沢は自由民権運動を「馱民権」と呼んで、政府の富国強兵策を支持した。
- b. [16] 脱亜論 …近代的な改革の進まないアジア諸国との連帯から抜け出し、西欧諸国の仲間入りをする脱亜入欧を唱えた。

## 3. 東洋のルソー [17] 中江兆民

明治政府（公議世論→藩閥政治） → 自由民権運動の展開

- (1) 自由民権運動の理論的指導者
- ・ルソーの『社会契約論』を翻訳して『民約訳解』として出版。フランスの急進的な民主主義（人民主権・直接民主制）の紹介に努める。
- (2) 民主国家の成立は「進化の理」
- 民権 { [18] 恩賜的民権 …為政者が上から人民に恵む  
[19] 恢復的民権 …人民自らの手で獲得した } 恩賜的民権を恢復的民権に育てる
- (3) [20] 日本に哲学なし

わが日本、古より今に至るまで哲学なし。そもそも国に哲学がないのは、あたかも床の間に掛物がないようなものであり、その国の品位が劣ることは免れない……哲学無き国民は何事をしていても深い意味はなく、浅薄さを免れない。自分自身で造った哲学がなく、政治には主義がなく、政党の争いもその場だけで継続性がない、その原因は実にここにあるのだ。

### Cf. 民権思想におけるフランス系・イギリス系

a. フランス系…急進的。中江兆民、植木枝盛など

[21] 植木枝盛 …主権在民・天賦人權・抵抗権を主張。「そもそも国とは人民の集まるところのものにして、決して政府によってできたものでもなく、君によって立ったものでもない、国はまったく人民によってできたものじゃ」

b. イギリス系…穏健的。明六社など。

→国家の独立・繁栄が重視。官民調和。